

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 東京都稲城市立稲城第六小学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 住所 〒 206-0821  
東京都稲城市大丸 2110  
 E-mail : inagi6p@educet03.plala.or.jp  
 Website : http://academic1.plala.or.jp/ine6e  
 児童生徒数：男子 136 名 女子 139 名 合計 275 名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（梨づくり体験学習）

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

### 【第3学年】

- (単元名)「大丸用水探検隊」〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕…1・2学期「わたしたちと大丸用水」…3学期
- ・大丸用水のことや自分との関わりについて話し合い、大丸用水探検計画を立てる。
  - ・大丸用水を実際に探検して、気付いたことや疑問、さらに調べたいことなど課題をもつ。
  - ➡大丸用水の自然(生き物等)など、自分のテーマを絞り探検計画(2学期)を立てる。
  - ・(2学期)大丸用水を探検(ガサガサ)する。➡お魚ポストの方に「魚や自然」「水辺の安全」等についてお話を伺う。➡分かった事の伝え方を考え自分なりにまとめ発表する。
  - ・(3学期)大丸用水の生き物、自然、水を守るためにできることを考え、実行する。
  - ➡大丸用水清掃活動・ポスター作成掲示 など。
- (単元名)「稲城の梨を育てよう」・「感謝。梨のひみつ教えます」…1・2学期
- ・梨農家の協力により、花粉つけ(4月)・袋かけ(6月上旬)・収穫(9月下旬)の体験作業、梨農家の方からのお話や取材等の体験学習を行う。➡梨づくり体験を通して分かった事や気付いた事、思った事、考えた事などを記録してシートにまとめる。
  - ・梨農家の方を招待して、感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を行う。梨づくり体験を通して考えた事や感じた事を各班や学年全体で表現して感謝の気持ちを伝える。

### 【第4学年】

- (単元名)「多摩川を知ろう」「多摩川の自然を探れ」〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕…1・2学期「多摩川の自然とわたしたち」…3学期
- ・立体地図等から周辺の様子を捉え、中流域周辺を探検して生息する生き物調査を行い、気付いた事や疑問をシートにまとめる。➡多摩川ガサガサ探検の計画を立て実施する。お魚ポストの方々をゲストティーチャーとして、多摩川での安全・多摩川の生き物についてのお話を伺いながら実施する。
  - ・探検を通して分かった事や疑問に基づいて課題を絞って調べたり、課題解決の話し合いをしたりする。各班ごとに伝えたいことや発表の仕方を決めて発表する。2学期末には「多摩川子ども環境シンポジウム」に参加して発表を行った。
  - ・1・2学期の学習を通して多摩川の自然と人との関わりを考え、多摩川の自然のためにできることを話し合い実行する。➡多摩川清掃活動・環境ポスター・3年生への発表会

### 【第5学年】

- (単元名)「多摩川の恵みを探る」1学期「多摩川と関わる人々」2学期「多摩川とわたし」
- ・多摩川の恵みについて話し合い「恵み」を「多摩川の流れ」の地図にまとめる。➡多摩川と大丸用水に分かれてフィールドワーク(インタビューや現地での調査)分かった事を「多摩川の流れ」の地図に加えて「恵み」についてまとめる(壁新聞・小冊子等)。
  - ・自分たちや地域の人々にとって多摩川はどのような存在かを考え、意見交流して「多摩川のために何が必要か」について各班ごとにまとめる。➡どのような発表の仕方が聞き手に一番よく伝わるかを考え発表会を行う(4年生・保護者・地域の方々に紹介する。)

### 【第6学年】

- (単元名)「自然と共に生きる」(多摩川・大丸用水学習を生かして)
- ・3～5年生で調べてきた多摩川・大丸用水の学習から、自然環境と自分たちの生活との関わりについて課題を見つけ、調べる。➡多摩川の過去の様子、現在の状況から未来の多摩川にはどのようなことが必要か、自分たちや地域の人々の多摩川への思いや願いから、今後はどのように関わればよいのかについて考え、整理して発表会を行う。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）